れんごうさが

No.179
2021年1月

「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて～希望ある未来づくりを～

RENGO SAGA

発　行　日本労働組合総連合会・佐賀県連合会
発行人　草場義樹　　編集者　高祖和彦

〒840-0804
佐賀市神野東4-7-3　TEL0952-33-3705　FAX0952-33-2805　0120-154-052

2021新年のごあいさつ

日本労働組合総連合会　佐賀県連合会　会長　井手（いで）　雅彦（まさひこ）

明けましておめでとうございます。構成産別の組合員ならびにご家族の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は初頭からの「新型コロナウイルスの感染拡大」により、世界では８６００万人程の方が感染され１８５万人程の方が命を落とされるなど未曾有の事象が発生し、世界中が混乱に陥りました。日本も例外ではなく二十数万人の方が感染し現在も拡大し続けている状況にあります。近年において、これ程のパンデミックは初めてであり、あらゆる面でグローバル化が進んだ現代の弱点が露呈したものと考えられます。ある学者が「人類を破滅に追いやるのは戦争や核ではなく新型ウイルスの蔓延である。」と言われていたのを思いだします。

残念ながらコロナ禍は本年も続きそうであり、まだ情報が少なく不安はありますが、他国で進んでいるワクチン接種等の効果を期待し早期の終息を望むものです。

一方では経済の悪化に伴う労働環境の急激な悪化が懸念されているところです。県内における企業の倒産や経営破綻については当初心配された程ではありませんが、今後の見通しが不透明な中で廃業等余儀なくされた方は相当数あるのではと思います。コロナ禍において雇用状況は急激に悪化しており、昨年まで社会問題化していた人材不足の課題は失業や新卒の就職対策へと一転しています。今こそ連合運動を活発化させる時であり、これまで以上に生活困窮者や就職の支援活動等々に注力していく必要があると思うところです。

また、第４次産業革命がおこり、私たちの生活やこれまでの概念からかけ離れた働き方に変化していく端境期のこの時期に、コロナ禍においてその変化は加速度を増す可能性があります。私たちは、これらのイノベーションや急激な人口減少により派生する課題に対し対処策などの今後の方針・方向性に加え、時間軸の変化も見直していくことが必要と思うところです。

いずれにしましても、どのような時代になろうとも安心して働き続け安心して暮らせる持続可能な社会構築に向け、私たちはあらゆる取り組みを推進していかなければならないと考えるところです。

本年も連合佐賀の取り組みに対し、これまで同様のご理解とご協力をお願いし、年頭の挨拶と致します。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

明けましておめでとうございます
今年もよろしくお願いいたします

連合佐賀役職員一同

2021新年のごあいさつ

命とくらしを守る
「新しい標準（ニューノーマル）」を創る

日本労働組合総連合会　会長　神津（こうづ） 里季生（りきお）

新年明けましておめでとうございます。連合運動に対する日頃のご理解・ご協力に心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、医療・介護・福祉をはじめ、インフラ・公益・物流・生活必需品の供給等を担っている皆さん！休業・自粛要請で雇用や生活に深刻な影響を受けながらも奮闘してこられた皆さん！平時と異なる環境下で育児・介護など家庭と仕事の両立に懸命な努力を重ねてこられた皆さん！働くうえでの困難を抱える組合員や相談者に真摯に対応してこられた組合役員の皆さん！すべての働く仲間一人ひとりに対し、心より敬意を表します。

コロナ禍において感染拡大とその対策が雇用に与えている影響は依然として極めて大きいものがあります。そしてそれはパート・有期・派遣等の働き方や、いわゆる「曖昧な雇用」等、弱い立場で働く方々や、一部の業種・業態、あるいは女性といった特定の属性に一層強く出ています。わが国のセーフティネットがあまりにも脆弱であることは明らかです。

今、「命とくらしを守ること」をすべての基軸に、社会の脆弱さの克服はもとより、人口構造の変化や技術革新による産業構造の変化、防災・減災・被災地支援等の課題に的確に対応していくことが求められています。そして、不確実な環境変化に適応しつつ、これからも人間が中心の社会であり続けるために、社会全体で、人を育てることの重要性を再認識することが不可欠です。そのことを基盤にすえながら、誰もがその希望にもとづく働き方・くらし方を選択し社会参加のできる、持続可能性を備えたセーフティネットを構築していかなければなりません。

この一年、連合は、昨年提起した**共有する「理念」－命とくらしを守る「新しい標準（ニューノーマル）」を創る－**の実践を強力に推し進めることを呼びかけます。

一方、8割超の雇用労働者が集団的労使関係に守られずにいます。そしていわゆる「曖昧な雇用」も増加の一途です。労使関係の意義と力を知る私たちこそが、労働組合の存在を社会に広げていかなければなりません。働く仲間に寄り添い「必ずそばにいる存在」としての労働組合の真価が問われています。すべての働く仲間・生活者の先頭に立ち、持続可能で包摂的な「働くことを軸とする安心社会」の実現へ、今こそ「私たちが未来を変える」運動をともに推進していきましょう。

本年も、連合に対する一層のご支援をお願いするとともに、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

立憲民主党副代表　佐賀県総支部連合会代表
元総務大臣　衆議院議員　原口（はらぐち）　一博（かずひろ）

新年のお慶びを申し上げます。旧年中は、連合佐賀の皆様にひとかたならぬご支援を賜り本当にありがとうございました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

暗く冷たい安倍、菅政治。今だけ、金だけ、自分だけの新自由主義。そして米国の戦争屋に従属することが日本の国益とひたすら虎の威を借りる狐。従属保守。その間、日本の成長は止まり長い停滞の時は我々労働者を直撃してきました。

これらに代わり明るく温かい社会を作るために昨年、私たちは立憲民主党を結成いたしました。このコロナ禍にあって政府与野党連絡協議会、特措法改正、各種支援策と常に政府与党をリードしてきました。

しかしそれも限界です。緊急事態宣言が発出されましたが、遅すぎ、小さすぎ、しかも的を外しています。命と暮らしの危機から国民を救うために何としても政権交代が必要です。毎朝の国政報告発信、地域での密を避けての国政報告会にも連合佐賀の皆様がご参加くださいまして重ねてお礼を申し上げます。

不安定な雇用、改悪された労働法制を正し、コロナ禍で直撃されている方々、特に若い世代、それも女性の皆様にきちんとした支援を届けたいと思います。

何のために労働運動をするのか？何故、立憲民主党か？それは日本の明るい反映した未来のためであり、私たち労働者の権利を守るためというのが答えです。政治と労働運動の分断、労働運動の中の公務と民間の分断、正規と非正規労働者の分断を許してはなりません。

この佐賀県は、日本で唯一、小選挙区を野党の私と大串博志さんが独占している県でもあります。これも連合佐賀の皆様のお力の賜物です。心からの感謝を捧げます。日々の情報発信も共有をお願いします。共有することで活動の方向性をそろえ労働者の権利を守る闘いに勝利したいと思います。

末筆となりますが、連合佐賀の発展と皆様、ご家族様のご多幸を祈り、年頭の感謝の言葉といたします。

立憲民主党役員室長　衆議院議員　大串（おおぐし）　博志（ひろし）

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、新型コロナウイルスの感染拡大に、多くの国民の皆さんが厳しい暮らしを余儀なくされた一年でした。

菅政権の新型コロナウイルス対応は、まさに「後手後手」。GoToトラベルの見直し、緊急事態宣言の発令、双方において「先手」の判断が出来ていれば、ここまでの感染拡大は避けれられたのではないかと思います。

これまで私達連合傘下に集う野党は、政府のコロナ対応に対して、国会内外での論議を通じて、雇用調整助成金の拡充、休業支援給付金の新設等、雇用を守る政策を中心に様々な提案を行って参りました。

その多くが、政府によって取り入れられ、私達野党側の政策提言の重要性はますます高まっています。

昨年、150人を超える大きな規模の党として新たな立憲民主党が立ち上がりました。

コロナ禍のもと、政府与党の足らざるところを指摘し、議論を引っ張れる、もう一翼の政治勢力としてさらに力をつけていかなければなりません。

さらに大きな塊を広げていく視野を持ちながら、今年必ず行われる衆議院総選挙において勝利し、働く仲間の声をより一層届けられる政権を作り上げるために、連合佐賀の皆様と、更なる切磋琢磨の年としていくことをお誓いし、年頭のご挨拶とさせて頂きます。

働く女性がいつまでも輝き続けるために

女性委員会「第31回定期総会」「講演会」開催

連合佐賀女性委員会は、12月5日（土）10時より佐賀市「ほほえみ館」において、代議員・傍聴者・女性委員会役員合わせて42名の出席のもと「第31回定期総会」を開催しました。

開会にあたり、石隈委員長（フード連合）はコロナ禍での参加に感謝を述べ、「2020年度の活動は新型コロナの影響で中止や開催形態の変更などを余儀なくされた1年となった。いつ終焉するかわからないコロナ禍の中で新しい形の活動も模索しなければならないが、女性委員会活動は、男女がともにイキイキと働き続けられる職場づくり、すべてのハラスメントのない社会実現に向けた活動だと思っている」と労働組合・女性委員会の必要性を訴え、諸活動への参画・参加、理解と協力を求め挨拶しました。

総会では、2020年度活動報告が承認され、議案として2021年度活動方針ならびに新役員が審議、承認されました。役員改選では多くの役員が継続就任し、留任9名・新任2名の11名での新幹事会体制が確認されました。

その後、「総会アピール」が採択され、閉会しました。

2021年度の活動にあたっては「男女平等をはじめとして、一人ひとりが尊重された『真の多様性』が根付く職場・社会の実現」に向け、女性のエンパワーメント（力をつけること）を高めることを基本に、学習会や産別の枠を超えた交流・情報交換および女性リーダーの育成、また、男女がともに担う労働運動の推進や男女平等政策の実現に向けた政治活動など、積極的に取り組んでいきます。

【退任役員】　前事務局長　田中 絢菜（電力総連）、前幹事　成富恵理奈（全労金）

【2021年度新役員】

※幹事:五十音順

役　職	氏　名	産　別	単　組	再／新
委員長	石隈　由紀子	フード連合	味の素冷凍食品労組	再　任
副委員長	城尾　悦子	自治労	吉野ヶ里町職労	再　任
事務局長	城島　麻子	電機連合	戸上電機労組	新　任(前副事務局長)
副事務局長	眞崎　美由紀	電力総連	九電ユニオン	新　任(前幹事)
幹事（7名）	大坪　昌子	UAゼンセン	UAゼンセン佐賀県支部	再　任
	澤中　三千代	電機連合	PCNSU	再　任
	原　ゆかり	情報労連	NTT労組	再　任
	藤井　恭子	自治労	白石町職労	再　任
	諸岡　千紗子	JP労組	JP労組	再　任
	山口　莉奈	電力総連	九電ユニオン	新　任
	山下　裕子	全労金	九州労金労組	新　任

△小林万里子佐賀県副知事

総会後は、毎年企画している「講演会」を開催し、今年は「佐賀県における女性活躍の実現」をテーマに、佐賀県副知事小林万里子さまを招き、学習しました。

小林副知事は、「佐賀県は共働きが多く、子供の数も多い、イクメン力が高いこともあるが、女性が頑張っている県なので、女性が活躍しやすい環境を整え、様々なサポートを行っている。身近な女性が頑張っていれば、意欲向上につながる。ロールモデルを目指そう」と講演され、新型コロナ感染者に対する偏見差別をなくし、支え合う、いつくしみ合う県であってほしいという思いも述べられました。その後、新型コロナワクチンの確保・宿泊療養施設に関する質疑にも応えられ、講演会を終了しました。

次世代を担う青年リーダー育成と青年活動の活性化に向けて

青年委員会「第31回定期総会」開催

連合佐賀青年委員会は、12月5日（土）14時より「ほほえみ館」にて、総会構成員50名の出席のもと「第31回定期総会」を開催しました。

開催にあたり、青年委員会を代表して挨拶を行った山本委員長（電力総連）は、「2020年度はコロナ禍で思うような活動ができないまま今総会を迎え、今後もこの状況下で先の見えない不安はあるが、来年の活動に期待をしたい」と挨拶しました。総会では、2020年度の活動を総括し、議案として2021年度活動方針ならびに2021年度役員が提案され、両議案とも承認されました。また、役員改選に伴い、新旧役員の紹介・挨拶が行われ、古川新委員長が青年活動への引き続きの支援・協力を求めました。その後、総会アピールを採択し、古川新委員長のガンバロー三唱で閉会しました。

2021年度の活動にあたっては、連合佐賀2021年度運動方針および青年委員会会則に定める目的と活動を踏まえ、次世代を担う青年リーダーの育成や単組・産別の枠を超えた青年の交流・学習会、政治活動への理解促進・参加等に取り組んでいきます。また、構成組織・地域協議会の青年組織・青年組合員との連携に努めていきます。

次世代を担う青年リーダーの育成は、労働組合として、連合・産別・単組として重要な運動の一つです。青年活動の活性化に向け、各機関・組織の位置づけと役割を確認しながら諸活動を展開していきますので、引き続きのご支援ご協力をお願いします。

【退任役員】

前委員長　山本 凌平（電力総連）、前副委員長　諸石 繁輝（電機連合）
前事務局長　今村 圭吾（自治労）、前事務局次長　市川 太平（ＪＰ労組）
前委員　赤木 孝光（フード連合）、福田 俊仁（運輸労連）

【2021年度役員体制】

※副委員長、委員:五十音順

役職	氏名	産別	単組	再／新
委員長	古川　夏幹	自治労	嬉野市職労	新　任(前委員)
副委員長(2名)	後藤　貴裕	ＪＰ労組	ＪＰ労組	新　任
	佐藤　健志朗	電力総連	西日本プラント工業労組	新　任(前委員)
事務局長	松尾　周晃	電機連合	戸上電機労組	新　任
事務局次長	福岡　芳紀	情報労連	ＮＴＴ労組	新　任(前副委員長)
委員(6名)欠員2名	小牧　功典	自治労	多久市職労	新　任
	倉持　佳和	全水道	佐賀水道労組	再　任
	千北　一馬	ＪＲ連合	ＪＲ九州労組	再　任
	野中　浩也	フード連合	全森永労組	新　任
	松尾　大志	電力総連	九州電保労	新　任
	山瀧　諒太	紙パ連合	王子マテリア労組	再　任
	—	運輸労連	—	—
	—	自動車総連	—	—

新型コロナ感染拡大防止策の徹底

議員懇2020冬季研修会開催

△議員懇談会会長の徳光県議(右)
司会の江口県議(左)

▽国公立大学附属病院感染対策協議会の
会長(2020～)としてご活躍の青木先生

11月21日（土）自治労会館大会議室において、連合佐賀議員懇談会主催「冬季研修会」が開催され、議員懇談会会員16名・連合佐賀（地協含）20名が参加しました。

議員懇談会では、政策制度の取り組みや各地方自治体の諸課題について議員と役員の情報の共有を目的に開催しています。

懇談会の徳光会長からは『夏の研修は中止したが、冬季は新型コロナウイルスの感染拡大防止策を徹底しようと「正しく恐れよ」ということで、佐賀県の第一人者である佐賀大学医学部の青木副医学部長にお願いしました』と挨拶がありました。

先生からは、ウイルスの歴史や仕組み、そして新型コロナウイルスの感染予防について詳しい講義がありました。特にマスコミなど不安をあおる情報が多いと指摘され、正しい情報をお伝えしたいと講義が始まりました。先生からは「生活圏の拡大のない者が何十名会食してもウイルスが沸き起こることはない。散歩中や自家用車内のマスクは必要ない。今付けているマスクも必要ないと思うが、立場上付けている。過度に心配する必要はない」と参加者の不安を払拭すると同時に、正しい予防法として、「マスクと手洗いをすれば感染しにくい」として正しい手洗い方法を指導されました。（佐賀大学医学部のHPのトップに動画をアップされています）また、世界の中でも日本の感染者が少ない要因に、保健師の方々の努力が大きく貢献していると評価されていました。その後、会場の皆さんとの質疑を行い研修会を終了しました。

Q:自治体での条例（PCR検査など）が必要か
（山下市議）
A:個別でやると混乱する、県で一本化がいいのではないか、避難所など例がある

Q:忘年会の要否についてアドバイスを
（福井市議）
A:佐賀県から出ていない人だけならやってもいい。雨の予想が3％だったら傘を持たないが、今回は5％以下でもリスクを感じている。外国で死亡者が多いのは保健制度が複雑だからと思う。

ワークルール検定2020・秋（初級）実施!

11月23日（月）自治労会館大会議室にてワークルール検定が実施されました。

連合は、ワークルール普及の観点から、ワークルール検定の取り組みを進めています。

佐賀会場2020年・秋の検定では、各産別からの受検者と一般の受検者、18名が挑戦しました。今年度は、コロナ禍の中での開催で受検者が減ることを心配しましたが、昨年以上の受検者数となりました。コロナ感染対策として、マスクの着用、手指の消毒、検温、ソーシャルディスタンスを意識した席の配置等、十分な対策を講じて実施しました。コロナ禍ということもあり、受検当日毎回行われてきた講義は、事前Ｗｅｂ講義となり、当日45分間の検定を受検しました。

結果については、70％・14問正解以上が合格となり、12月15日の午前10時にワークルール検定公式ホームページに受検番号が掲示されました。今年は6月13日（日）に実施される予定ですので、多くの皆様のチャレンジをよろしくお願いいたします。

連合佐賀政策委員会「2020現地視察」で学ぶ

11月26日（木）、政策委員をはじめ執行委員および地協役員ならびに議員懇・退職者連合を含めた18名参加のもと、「現地視察」を実施しました。

連合佐賀では、政策・制度の学習のため現地視察を行っていますが、近年の異常気象による災害対策や感染予防を踏まえた避難および復旧・復興に対する自治体の施策は重要となっています。このような情勢を受け、政策委員会では、佐賀豪雨により多大な被災を受けた武雄市における施策およびコロナ禍での観光振興施策を学び、今後の政策制度提言の参考とするため地方自治体への視察として実施しました。

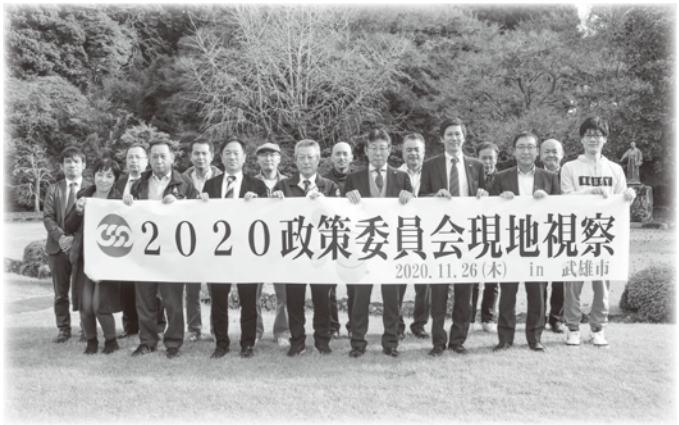
武雄市の広報課を窓口にして、防災・減災課および商工観光課から説明を受けるため、災害を受けた武雄市北方町の公民館に集合してから始まりました。

はじめは防災・減災課から一昨年8月の災害時の降雨状況、初動・応急・復旧対応の説明がありました。被災1年後の復興対応状況として「武雄市創造的復興プラン」などパワーポイントで説明があり、昨年の台風10号対応としてコロナ禍の避難所対応の課題などの説明がありました。

△政策委員会の俣野委員長

＊対策本部では情報の共有化や市長の呼びかけなど、広報による市民への情報発信に努めた。（ケーブルTV,FB）
＊コロナ禍では、㈱サガシキと共同開発した段ボール間仕切りも使用したが、避難場所により職員の認識不足もあった

政浸水看板が各所に
設置されている
この赤のラインまで浸水



昼食後は武雄市文化会館へ移動、市の観光と商工行政支援について意見交換を実施しました。

今回の視察を通じ、これからも続く災害対策や感染症対策など、今後の政策・制度実現に向けた自治体への要求事項に活かして行きたいと考えます。

※12月10日に予定されておりました佐賀県退職者連合「第27回定期総会」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催としました

第59回（臨時）地方委員会の開催について　<公示>

連合佐賀規約第24条に基づき「第59回（臨時）地方委員会」を下記の通り開催いたします。

記

1．開催日時　　2021年2月6日（土）10時00分～11時30分（9:30受付開始）

2．開催場所　　アバンセホール
佐賀市天神３丁目２－１１　℡：0952-26-0011

3．出席要請　　構成組織選出の地方委員

4．議　　案　　第１号議案　連合佐賀2021春季生活闘争方針に関する件
第２号議案　表彰に関する件
※開催当日までに追加議案が発生する場合があります。

<お知らせ>

【毎月05日は「れんごうの日」！～1月～】

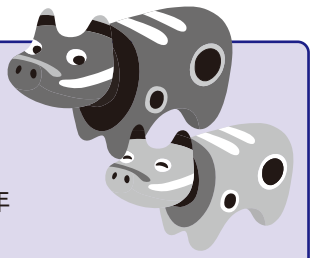
連合では「2021連合アクション」として、毎月05日を「れんごうの日」と設定し、構成組織・地方連合会と一斉に、「働く人が主役となり、多様な働く人々にスポットをあて、全国一斉行動・一斉配信を起こす」運動を実施しております。

今年最初の「05（れんごう）の日」は「働くすべての人に感謝を！」がテーマです。
医療・介護の現場で闘ってくださっている人、ステイホームの中、宅配の荷物を運んでくれた人、スーパーやコンビニなど生活必需品を扱う人、電車を運行してくださるなどインフラを担う人、今日も私たちの生活はたくさんの人のお仕事に支えられています！年末年始も休まず働いてくれたエッセンシャルワーカーの皆さん、本当にありがとうございます。そして全ての働く人々へ感謝します！
#新型コロナ の影響で私生活にも仕事にも大きな変化の年になった2020年。
2021年、労働組合・連合は働くみなさんに寄り添います！

働くみんなの連合サポート
ワーク Wor-Q
"Q" Support System for All Workers by RENGO

日本労働組合総連合会（連合）は、フリーランスなど、曖昧な雇用状況にいる人たちの課題や疑問を共に解決していくサイト「働く（Work）みんなの連合サポートQ（愛称：Wor-Q）」を10月2日（金）より開始し、これまでの労働組合活動を通じて蓄積された事例やデータをもとに、日本特有の働き方の課題解決に加え、「全ての働く人の課題解決」をめざします。

編集後記



明けましておめでとうございます。2020年はコロナ一色の年でした。
連合の行事もほとんどが中止・延期となっています。2021年も先行き不透明ですが、今後のワクチン開発に期待したいものです。
さて2020年を表す漢字は「密」となりました。密を避け、コロナ対策を行い2021年も乗り切っていきましょう。（K）